

## 人種差別は良くない

相模原中等教育学校 2年 松永 悠良

「人種差別は良くない」と昔から言われています。僕も人種差別は良くないと思っている内の一人です。しかし、この問題はいつまで経っても消えませんが。それはおかしいと思い、人種差別をテーマに作文を書こうと思いました。

僕が人種差別は良くないと思う理由は主に三つあります。一つ目は、先程にも書いたように、昔から人種差別は良くないと言われているのに、今になってもまだ完全にはこの問題は解決されていないからです。昔には、ネルソン・マンデラやキング牧師、ローザ・パークスなどさまざまな人々が異議を唱えてきました。それにより、人種差別撤廃条約というものができています。それなのにまだ、人種差別による事件がまだ世界各地で起こっているのはおかしいと思います。二つ目は、アメリカで起きた、ジョージ・フロイドさんの事件を知ったからです。これはアメリカで白人警官による暴行で黒人を死亡させた事件です。この事件によって世界中では人種差別に対するデモが行われました。それだけではなく、サッカー選手のゴールパフォーマンスにも影響しています。ジェイドン・サンチョとアクラフ・ハキミが得点を決めた後、「ジョージ・フロイドに正義を」というメッセージを記したシャツをカメラマンにアピールしていました。僕はこれを見て人種差別の深刻さを知りました。三つ目は、人種差別は人間の権利を侵害するものであり、人々の教育や健康などが損なわれるものだと思うからです。今の子どもが人種差別

を受けて学校に行かなくなったりすると、大人になってきちんとした教育を受けていない人が社会に出てきてしまいます。それでは、みんなが描いている理想の未来には程遠くなってしまっているのではないのでしょうか。

確かにアメリカ等の国では昔の考え方が定着していて、なかなかその考えを捨て切れないでいる人もいます。しかし、もし自分が肌が黒いというだけで差別を受けたらどう思いますか。平気だという人はほとんどいないと思います。ならば、昔の考えを捨て切ることができない人は、自分が差別を受けたらどうか、人はみな平等であるべきではないかと自問自答すべきです。しかし、それでも昔の考え方を捨てきれない人はいるでしょう。そういう人には人種差別は良くないと思っっている人達が手助けすればいいと思います。例えば、共に人種差別について調べたり、説得したりして人種差別は良くないということを知ってもらうことが重要だと思います。

また、人種差別をなくすためには、全世界の人々がこの世界に生まれてきた全ての人がみな平等であり、人種差別は怖くて恐ろしいものだとして認識する必要があります。そのためには、昔の人の演説を聞いたり、人種差別を反対する運動に参加したりすべきだと考えます。また、異文化や外国の人に積極的に接することも大切だと思います。外国の人と接することで異人種への偏見がだんだんと薄くなっていくのではないのでしょうか。さらに、学校の授業で人種差別は良くないということ教える回数を増やしていけば、今の子ども達が大人になったときに、人種差別は良くないと思っっている人が今よりも多く存在しているのではないのでしょうか。また、自分たちが人種差別は怖くて恐ろしいものだということを親や近所の人に伝え、その人たちがまたさらに多くの人達へと伝えていけば、人種差別は怖く恐ろしいものだと世界中の人が認識することができるでしょう。

このように、人種差別は怖く恐ろしいものです。しかし、先程に書いたよ

うなことをすれば人種差別という問題自体を消し去ることができるということも分かります。また、このような状況だからこそ、どんな人とも手を取り合い、協力すべきだと思います。僕は人種差別をなくすために、もっと人種差別について調べ、解決する方法を探していきたいと思います。